

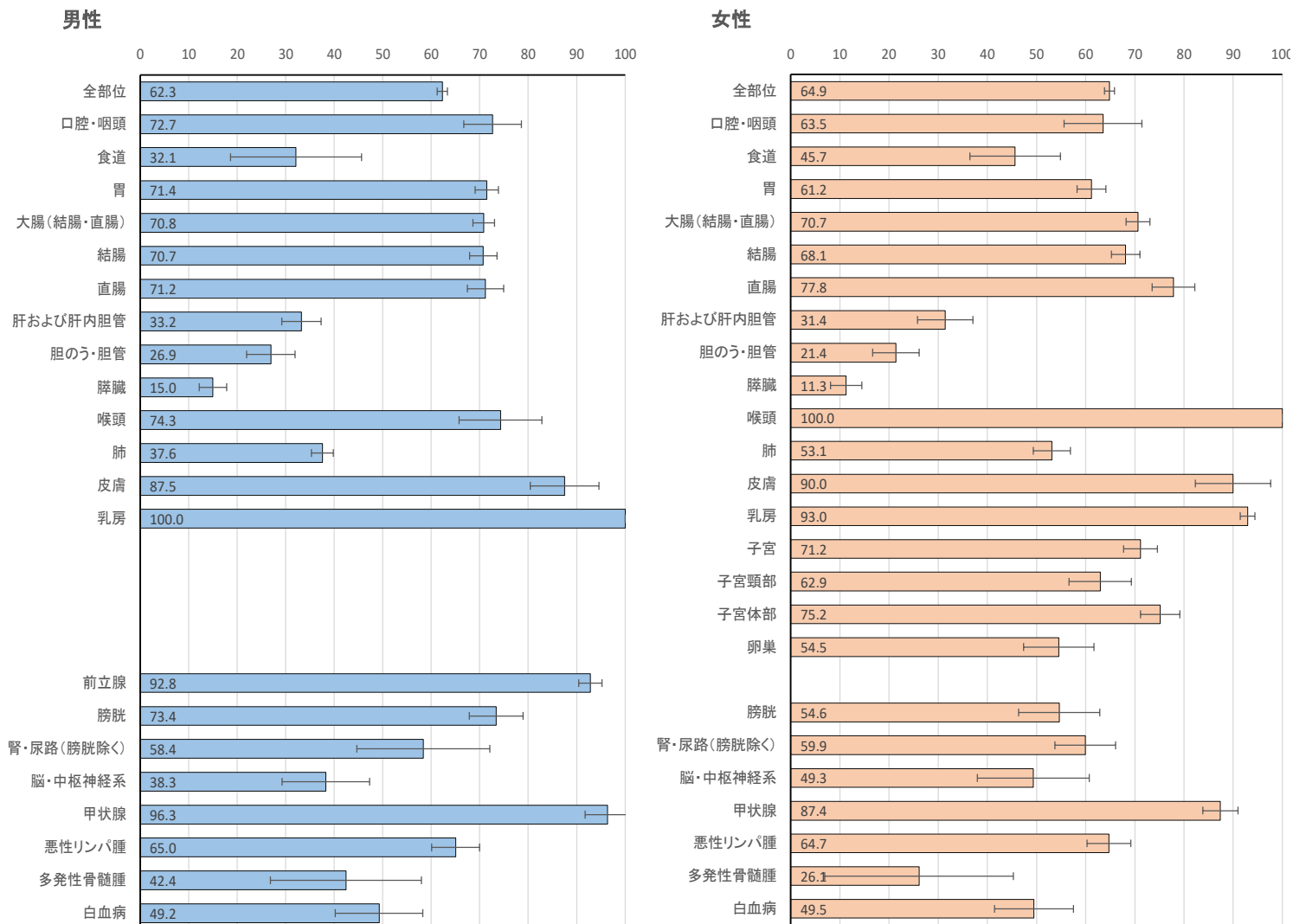
V. 5年相対生存率

1. 富山県の5年相対生存率

5年相対生存率とは、ある病気（がん）の診断から5年後に生存している人の割合を表す指標（生存率）の1つ。診断されてから5年後の実測生存率（死因を問わない場合の生存率）を、対象者と同じ特性（年齢、性別、地域など）を持った一般集団（一般の日本国民）の生存率（期待生存率）で割って計算する。相対生存率は、対象の病気（がん）以外による死亡の影響を小さくして適正な値に近づけた指標として広く用いられている。（がん情報サービス「がんに関する用語集」より）

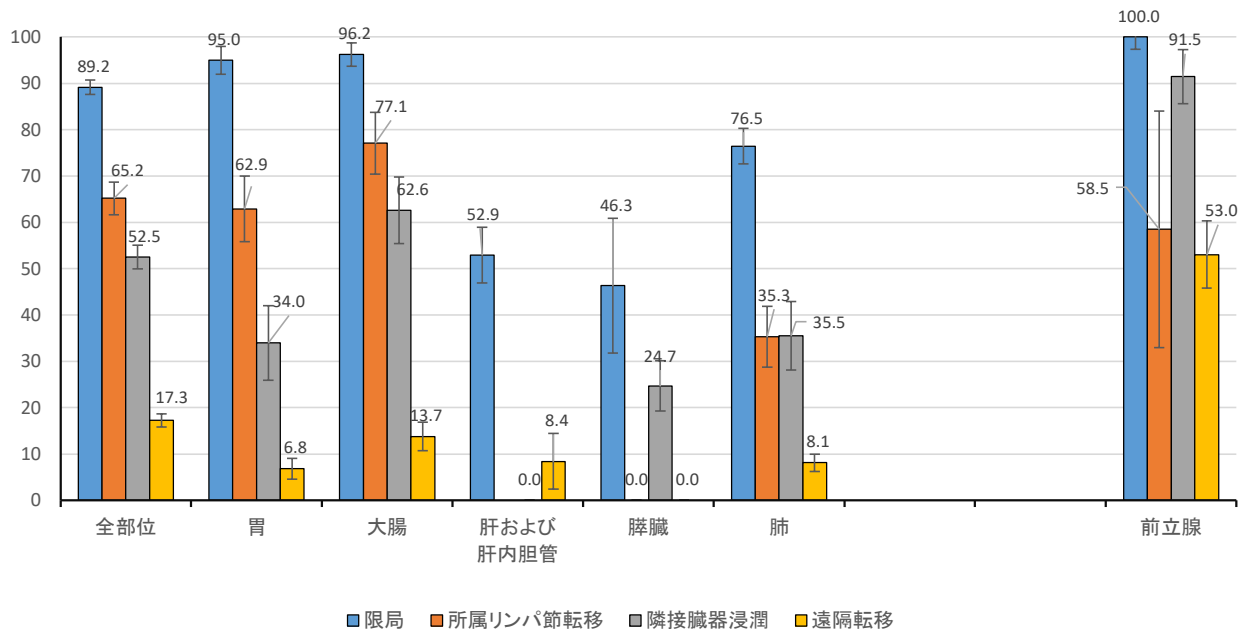
図15 部位別5年相対生存率（% 標準誤差）（R3年、表12から作成）

図16 部位別、進展度別5年相対生存率（% 標準誤差）



(R3年、表13から作成)

5年相対生存率 男性(%)



5年相対生存率 女性(%)

